

いしかわ百万石文化祭2023公式ホームページ制作及び保守管理業務委託仕様書

1 委託業務名

いしかわ百万石文化祭2023公式ホームページ制作及び保守管理業務

2 委託業務の目的

令和5年秋に本県で開催される「いしかわ百万石文化祭2023（第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭）」（以下、「文化祭」という。）を広く周知するため、大会の概要や各種イベント情報等を効果的に発信する公式ホームページを作成する。

3 業務の内容

(1) ホームページ制作業務

① 基本方針

- ア 利用者が使いやすく、目的とするページに容易にアクセスできる構成であること。
- イ ブラウザだけで動作するCMS (Contents Management System)により管理・更新を可能とすること。
- ウ ウェブアクセシビリティについて、十分配慮したものであること。
- エ ビジュアル等により、利用者に興味を持たせるデザインで、文化祭の趣旨及び石川県の魅力をアピールしたコンテンツであること。
- オ パソコン、スマートフォン、タブレット端末など様々な機種に対応したホームページであること。
- カ ホームページ機能の詳細は機能要件一覧（別添）のとおりとすること。

② ページ構成等

- ア 添付「ホームページの基本構成案」を目安とするが、趣旨を損なわない程度のアレンジは可能とする。
なお、同案は発注時の案であり、追加変更する場合がある。
また、同案は最終年度を想定したものであり、当初は掲載情報の無い項目があることも踏まえ、ホームページの全体構成や次年度以降のデザイン変更やコンテンツの充実、CMSの拡張等に対する考え方を提案すること。
- イ 新着情報の掲載や関連するホームページのバナーを設置できるようにすること。
- ウ ホームページ内検索機能を全ページに配置すること。
- エ いしかわ百万石文化祭2023実行委員会（以下「実行委員会」という。）において手配する外部支援ツール等により、次の機能を設けること。（全ページに配置）
 - ・文字サイズ選択機能
 - ・文字色選択機能
 - ・音声読み上げ機能
 - ・ルビ（フリガナ）を振る機能

③ ページデザイン

- ア 大会キャッチフレーズ「文化絢爛」など、大会の魅力や特徴を理解し、利用者の興味を喚起し、期待を高め、大会への参加や本県への誘客が図られるデザイン及びコンテンツとすること。

- イ トップページは全国から文化団体や芸術団体が集まる大会であることを踏まえ、キービジュアルとなるスライドショーを設定する等、閲覧者を引き付けることができるようなビジュアルを重視したデザインとすること。
スライドショーを利用する場合は、利用者にそれを停止する手段を提供するなどウェブアクセシビリティに十分配慮すること。
また、トピックス、新着情報を設けるなど、再訪問者が更新された情報を見つけ易くすること。
- ウ 文化祭ロゴマークを使用すること。
- エ 基本的なレイアウトやボタンの位置も統一性を持たせること。アイコンやバナー等、使用する各パーツ、文字フォントについても同様とする。
- オ 写真・動画の活用など躍動感・動きのある、受け手の目を引くデザイン上の工夫を加えること。
- カ 画像や見出し、文書段落を効果的に使用するなどして、新規利用者に親しみを感じさせるとともに、直帰させない工夫がなされていること。
- キ 利用者を県内各地のイベントに誘導する（参加を促す）仕組みとすること。
- ク 各ページには明示的なページタイトルを設定するほか、画像に対する代替テキストの付与や見出し・箇条書きによる文書の構造化を実施するなど、ウェブアクセシビリティに配慮したページ構成とすること。
- ケ 利用者が、どのページにアクセスしているのかが分かりやすいようにグローバルナビゲーションやページ位置確認機能（パンくずリスト）などを表示させること。
また、それらのデザインや配置位置はできるだけページ間で統一すること。
- コ 情報分類やファイル種別毎にディレクトリをグループ化するなど、利用者が必要な情報を探し易く、かつ必要な情報にたどり着くまでのクリック数が少なく、すむように分類構成（階層構造化）し、浮遊ページ等が生じないように配慮すること。なお、情報分類については委託者との間で十分に協議すること。
- サ 利用者が情報を見つけ易いよう、メニューやナビゲーションを配置するとともに、特に利用者に周知したい情報を差別化できるレイアウトとすること。
- シ 横スクロールは不要とし、縦スクロールに関しても、極力少なくすること。
- ス Google map を利用した会場までのルート案内、ルート検索機能に対応すること。
- セ 実行委員会から提供するデータ以外の著作権、商標権、その他の権利の使用は、受託者が許諾を得ること。なお、これに係る費用は受託者の負担とする。

④ 利用者への配慮

- ア ウェブコンテンツのアクセシビリティに関する日本産業規格「JIS X 8341-3:2016 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェアおよびサービス—第3部：ウェブコンテンツ」（以下、「JIS X 8341-3:2016」という。）の等級 AA に準拠すること。
- イ 特定のブラウザの固有機能に依存しないように留意し、下記のブラウザでホームページを表示できること。
- Edge
 - Firefox
 - Safari
 - Chrome

- ・Android 標準ブラウザ及び Mobile Safari
- ウ 利用者が画面上の必要な情報を印刷できるよう印刷ボタンを配置するなど配慮すること。
- ⑤ HTML のコーディング
 - ア W3C で定める技術基準に基づきコーディングを行うこと。
 - イ 文字コードは utf-8 とする。
 - ウ ナビゲーション領域や本文領域に適時コメントを挿入し、編集領域が明確に分かるような配慮を行うこと。
- ⑥ スマートフォン対応
 - 全てのページをスマートフォン対応とし、検索・閲覧しやすい画面構成とすること。スマートフォン対応できないページがある場合は、その範囲を提案の際に明示すること。
- ⑦ その他
 - ア お問い合わせフォームについては、プラグイン対策を提案すること。
 - イ 公式ホームページのリンク用バナーを制作すること。形式は横書きとし、標準サイズはハーフバナー（234px×60px）を基本として、適宜変更できるものとする。
 - ウ アクセス数の管理を Google Analytics を用いて行う。そのため、専用の Google アカウントを取得するとともに、ページ別の閲覧数で利用者の需要を確認するため、全ページにトラッキングコードの埋め込みを行うこと。また、必要に応じて、委託者に対し、Google Analytics によるページビューの取得方法について指導を行うこと。
 - エ 閲覧者からホームページへの書き込みは不可とし、当方からの情報発信のみとすること。
 - オ 検索エンジン最適化（SEO）対策に配慮したデザインシステムにすること。
利用者が目的の情報を探するために、主要な検索エンジン（Yahoo!、Google など）のキーワード検索を利用することを考慮し、各ページを検索されやすいようにすること。また、検索結果の上位に表示されるような工夫、ホームページへのアクセス数の増加につながるような取組を実施すること

(2) 保守管理業務

① ホームページの更新

- ア 事務局の職員等によりホームページの更新が容易かつ頻繁に行うことができる仕組みとすること。
- イ データ入力の際に、ファイル（JPEG、GIF、PDF 形式等）を添付してアップロードできること。また、ページの所定の位置からそれらのファイルが表示、ダウンロードできること。

② 障害時の対応

- ア 障害に関する受付窓口を設けること。
- イ 連絡方法、受付時間及び対応時間は、原則次のとおりとする。

連絡方法	受付時間	対応時間
電子メール	24時間365日	8:30~17:15
電 話	8:30~17:15	

ただし、システム停止等の緊急性を伴う障害については、24時間365日受付及び対応を行うこととし、緊急連絡先を確保すること。

- ウ 障害等が発生した旨の連絡を受けてから1時間以内に電話等で障害状況を確認し、速やかに復旧措置を行うこと。また、その内容は書面でも委託者に報告すること。
- エ 障害等の原因、影響範囲、対応方針、復旧見込み等は逐次速やかに委託者へ連絡すること。また利用者向けに適切な障害情報の発信が可能な仕組みを設けること。
- オ 障害の発生状況、対応内容等の履歴を記録・管理すること。

③ 職員に対するサポート

- ア CMS操作及びホームページ運営とページ作成や編集を容易にする操作マニュアルを作成すること。また、職員の問い合わせに対応するため、ヘルプデスクを設置し、必要に応じ、職員が行う更新作業等のサポートを行うこと。
- イ ホームページ公開前に事務局の職員等を対象に導入教育（入力方法研修会等）を1回以上開催すること。

④ その他

コンテンツ内容やデザインなどの必要な更新を行うことを前提に、定期的にホームページの品質向上に向けた改善提案及び先催県事例の報告を行うこと。

(3) サーバの確保等

① サーバ要件

- ア ホームページ運営に必要なサーバ（容量その他ホームページ運営に必要なスペックを考慮したものとする）を受託者において確保し、必要な初期設定を行うこと。
- イ コンテンツの追加等を想定して十分なディスク容量を確保すること。
- ウ 第三者のサーバを利用（レンタル利用）する場合、次の基準を満たすこと。また、自社所有のサーバを利用する場合もこれに準ずること。
 - a サーバの利用契約を締結する際、次の項目を遵守すること。
 - ・再委託は禁止とすること。
 - ・作業場所を特定すること（個人情報の無断持ち出し禁止）。
 - ・委託業務終了時の情報資産の返還、廃棄等を義務づけること。
 - ・委託先における実施体制表、工程表、主任担当者選任届、業務従事者一覧表、秘密保持契約書及び情報セキュリティ対策に関する措置を記載した書面を提出させ、確認すること。
 - ・委託業務に使用した個人情報、機密情報等の取扱方法、処理結果報告を記載した書面を提出させ、確認すること。
 - b サーバは国内に設置し、セキュリティ対策の施された建物内に設置されていること。
 - c 情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格の認証を取得している又はそれに準じた第三者機関による認証基準を満たすこと。
 - d 使用するOS、ミドルウェア、アプリケーションのバージョンは仕様書記載の機

能を実装する、できる限り新しいものを使用することとし、バージョンアップや最新のセキュリティパッチを適用すること。

e 外部からの攻撃やウイルス対策等に対し、必要な情報セキュリティ措置を講じること。

※セキュリティパッチは最低3カ月に1度行うこと。セキュリティパッチを適用することにより、他のソフトウェアが不正動作を行わないよう事前の検討又は検証を行うこと。緊急性の高い脆弱性が発見された場合は、即座に対応すること。

f アプリケーションやソフトウェアの脆弱性対策として、脆弱性情報を収集し、ソフトウェアのアップデート対応を行う保守体制を確立すること。また、脆弱性診断を定期的に受診すること。

g サーバに侵入されホームページ等のデータが改ざんされた際に、その発生を検知し、通知する改ざん探知システムを導入すること。

h アクセスログの記録・解析ができること。また3カ月以上保管すること。

i サーバ毎に毎日（1日1回）自動的にバックアップを実行することとし、障害発生時には前日中のデータに復元できること。

j 期間中のアクセス集中に対応し、サーバ増強などの対策がとれること。

エ ドメイン名は委託者が指定するものを新たに取得し使用すること。

オ ウェブサーバーは、利用者が3秒以内にページを開けるようデータの送信が行えること。ただし、サーバ内処理時間が十分に担保されていても、ブラウザやネットワークなどのユーザの利用環境における処理時間の違いなどにより定量的な計測が困難であるため、数値は目安として設定する。

カ SSLサーバ証明書を利用できること。なお、SSLサーバ証明書の費用は委託業務の必要経費に含めること。

キ システムの運用時間は、24時間365日を前提とすること。

② データセンター要件

ア ICカード鍵または生体認証による、入退室管理が行われていること。

イ 監視カメラにより、出入口及び室内の監視が行われていること。

ウ 停電に備え、UPS（無停電電源装置）が提供されていること。

エ サーバを格納しているキャビネットは、震度6以上の耐震性能を持ち、施錠管理されていること。

オ 24時間365日入室が可能なこと。

カ 設備稼働に適した空調管理がなされていること。

キ 消火設備は、ガス系消火設備を利用していること。

ク 個人情報保護方針を有し、情報セキュリティマネジメントシステムなどの国際的な基準規格やそれに準ずる資格認証等を保持するなど、情報セキュリティに関する体制を構築していること。

③ インターネット接続要件

ア 本仕様書に記載するサーバとインターネットを繋ぐ通信回線（共有可）を有し、制限なくインターネットサービスプロバイダに接続できること。

イ 委託者がデータセンターに設置するサーバにアクセスしてコンテンツの管理が可能であること。

(4) 開発体制及び環境等

① 開発体制

- ア 受託者は、直近5年以内に類似業務の履行実績があり、豊富な経験を有していること。
- イ 本事業を推進し全体の責任を取る実施責任者と、同責任者のもとで開発を行う実施担当者を2名以上、サーバを管理する責任者を1名以上配置すること。
なお、技術協力事業者の実施者を含めて提案する場合においても、実施責任者及び実施担当者の計2名以上は自社の実施者であることを要する。
- ウ Linux、Apache、PHP、JavaScript、Ruby、MySQL 等国際的に使用されているソフトウェア環境に関する技術力に関する知識を有した実施者による開発体制を確保すること。
- エ 実施責任者及び実施担当者は、事務局担当者と十分な意思疎通を図ることができること。
- オ 開発体制に変更が生じる場合、その旨を委託者に報告し、承認を得ること。
- カ 品質評価計画の立案、検証及び品質改善策の検討と実施を管理する体制を確保すること。

② 開発環境等

- ア システム開発に必要な開発環境（ハードウェア、ソフトウェア環境等）は、受託者が用意すること。また、開発に使用する環境においては、ウイルス対策、セキュリティホール対策など、十分なセキュリティ対策が実施されていること。
- イ システム開発を行う場所は、受託者が用意し、必要なセキュリティ確保を図ること。

(5) 進捗管理

- ① 受託時に、本業務実施フロー【様式5】等を基に委託者と協議のうえ、以下の書類を作成、提出すること。
 - ア 作業行程表
 - イ 体制図（再委託先及び下請け先を含む作業責任者、作業従事者の氏名等）
 - ウ 進捗管理計画
 - エ 委託者と受託者の役割と責任分担
- ② 受託者は進捗報告、使用確認及び課題検討等のため、以下の資料を作成・必要部数を用意し、委託者と月1回以上、打ち合わせを実施すること。
 - ア 進捗報告書
 - イ 課題管理表（発生した課題やリスクの内容、対処、今後の対応方針等）
 - ウ その他必要と思われる資料打合せは、原則として石川県県民文化スポーツ部文化振興課内とし、会議室等は都度委託者が準備する。
また、打合せを行った際は、受託者は議事録を作成し提出すること。

4 成果品

(1) ホームページ設計書

紙媒体 2部、電子媒体 2部

- | | |
|------------------------------|------------------|
| (2) システム運用マニュアル | 紙媒体 2 部、電子媒体 3 部 |
| (3) ホームページコンテンツデータ（バナーデータ含む） | 電子媒体 2 部 |
| (4) 業務完了報告書 | 紙媒体 1 部 |

5 その他

- (1) 本業務の成果品に係る著作権（作成の過程で作られた素材等の著作権も含む）及びその権利はすべて委託者に帰属するものとする。
- (2) 成果品及び構成要素に含まれる第三者の著作権、商標権、その他の権利については書面で許諾を取得するとともに、委託者に書面で報告すること。また当該費用も見積額及び契約額に含めること。
- (3) また、既存の著作物に関して、委託者が当該部品等を利用する場合、若しくは外部サーバにアップロードする場合は、受託者は当該著作物の権利者に対し、二次使用权等の承諾を得ること。
- (4) 瑕疵については、運用開始後 1 年間は無償で対応するものとする。その他の事由で修正が生じた場合の対応については、委託者との間で協議するものとする。
- (5) 「石川県情報調達共通特記仕様書（令和 2 年 4 月版）」、「個人情報への取扱いに係る特記事項」を参考に、個人情報ははじめとするセキュリティ対策に万全を期したものとすること。
- (6) 業務の遂行にあたって疑義が生じたとき、または、本仕様書に定めのない事項に関しては、「石川県情報調達共通特記仕様書（令和 2 年 4 月版）」によるものとする。また、本仕様書に不明の点がある場合、また明記のない事項については、速やかに実行委員会まで連絡し、その指示を受けること。
- (7) 受託者は、雇用保険法（昭和 49 年法律第 116 号）、労働者災害補償保険法（昭和 22 年法律第 50 号）、健康保険法（大正 11 年法律第 70 号）及び厚生年金保険法（昭和 29 年法律第 115 号）の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない

いしかわ百万石文化祭2023公式ホームページ機能要件一覧

	機能要件	番号	詳細
全般	基本要件	1	CMS利用にあたって、各職員パソコンに、特別なアプリケーションなどをインストールする必要が無いこと（ウェブブラウザから利用できること）。
		2	各職員のPCやスマートフォン等におけるOSやブラウザ等利用環境に依存することなく、更新、編集等ができること。
		3	ホームページ全体を統一したデザインで管理できること。
		4	HTML言語を意識することなく、一般的なワープロソフトに近い操作性によりコンテンツを編集できること。また、イベント情報等、定型的情報は、定型フォームを利用する等、状況に応じてテンプレートが、容易に設定（利用）できること。 なお、あらかじめ必要と思われるテンプレートを作成し、登録しておくこと
		5	作成途中のコンテンツを保存し、再ログイン時に再編集できること。
		6	コンテンツの公開イメージのプレビュー表示や印刷が、容易にできること。また、関連リンクも含めた公開時と同じ状態のサイト全体のイメージのプレビュー表示や各ページの印刷が、容易にできること。
		7	Word・Excelで作成した文章・表を、「コピー&ペースト」により転用でき、その際、アプリケーション固有のタグは容易に削除できること。また、固有タグを排除したデータへの見出しの設定等が、CMS上で容易に編集できること。
		8	別途作成したHTMLを、「コピー&ペースト」により転用でき、その際、生成される不要なタグや非推奨タグが容易に削除できること。
		9	同名のHTMLや画像、PDF等を作成しようとする場合、上書きに関する注意を喚起する警告を表示し、スムーズに修正ができること。
		10	管理しているページはCMS上で検索でき、検索結果の並び替えができること。各ページの情報（作成日、更新日、最終更新者など）が確認できること。
		11	CMSで管理しているページの一覧は、カテゴリ毎に見やすく表示されること。
		12	管理者とユーザを設定し、管理者の承認により、更新が行われること。またユーザは全ページに更新ができるもの、お知らせ、イベント情報のみ投稿できるものなど適切な権限が設定できること
	アクセシビリティ機能	13	「改正JIS X8341-3」の等級AAに準拠すること。
		14	文字サイズ、背景色を、閲覧者が簡単に変更出来ること。 音声読み上げ、ルビ（フリガナ）を振ることができること。
	ログイン	15	ログインID、パスワードを使用しログインできること。
		16	管理者は、CMSの管理画面上でユーザ情報の修正、追加、削除が行えること。 ユーザ毎にユーザIDや適切な権限が設定できること。
	トップページのデザイン	17	トップページの画像等について、容易に変更できること。
		18	指定する位置に、バナーを8枠以上（最大12枠程度）表示できること。なお、バナーの表示数・掲載順序を容易に変更できること。
		19	更新した情報を、日付降順により、カテゴリページ内等、トップページ以外にも容易に表示できること。
		20	ホームページの利用ガイド・著作権・セキュリティ・免責事項・個人情報利用規定等の情報を、容易に掲載できること。
		21	選択した情報を、「新着情報」として、トップページに容易に表示できること。なお、「新着情報」の表示件数を容易に変更できること。
		22	新着情報への掲載時にタイトルと共に、一定期間NEWマークを自動で表示すること。
		23	各種SNS（Facebook、Instagram、YouTube）をビルトインで表示させること
	新着リンク	24	「お知らせ」や「新着情報」などのページが公開されたタイミングで、事前に指定したページ（例：トップページ）に、作成したページへのリンクが自動掲載（更新）されること。
	2階層以下のデザイン	25	各ページには、グローバルナビゲーション・ローカルナビゲーション（階層リンク）、パンくずリスト、タイトル情報等を必ず配置できること。
		26	各ページの指定する位置に、バナーを8枠以上（最大12枠程度）表示できること。なお、バナーの表示数・掲載順序を容易に変更できること。
	サイトマップ	27	閲覧者が、ホームページ全体の構成を容易に理解できるサイトマップを自動生成すること。
	検索エンジン	28	フリーワード検索（全文検索）、絞り込み、and/or等の検索機能を有し、ホームページ内

			の検索ができること。(Googleカスタム検索可) なお、検索の入力フォームをページに配置すること。
		29	ページタイトル、検索エンジン用キーワード、検索エンジン用説明文などのmeta情報を容易に設定できること。
		30	検索結果のページは、ホームページ内の他のページと同様、同じ体裁のヘッダ、フッタを表示させ、利用者には、別のホームページに移動したという印象を与えないようにすること。
		31	検索結果を、サイト・カテゴリ・FAQ等、区分して表示できること。 (例: Google カスタム検索の絞り込みラベル等のイメージ)
コンテンツ作成機能	キーワード	32	コンテンツに、検索用キーワードを容易に設定できること。
	表	33	HTMLの知識がない職員でも、簡単な操作で表が作成できること。また、作成した表の幅や高さ等の調整が容易にできること。
	添付ファイル等	34	各種ファイル (Word、Excel、PDF、JPEG、GIF 等) をブラウザ上から簡単な操作で任意の位置に添付できること。
		35	添付ファイル等のファイル名チェック機能を有すること。CMSに取り込めないファイル名の場合不適切なファイル名の例 (「日本語は使用できません」等) を警告表示し修正をうながし、適切なファイル名以外は保存ができないこと。
		36	添付ファイル等をリンクとして取り込んだ場合、自動的にファイル形式をアイコン等 (文字列も含む) で表示し、あわせてファイル容量を表示すること。なお、添付ファイルの場合は、Adobe Reader最新版ダウンロードサイトへのリンクも自動的に表示すること。
		37	画像ファイルは、インライン挿入 (特定の座標位置でなく文字と文字の間に画像を挿入) 及び表示サイズ、表示位置の指定が容易にできること。
		38	画像をアップロードする際に、容易にリサイズできること。
	バナー	39	バナーの画像データは、JPG・GIF (透過 GIF 及びアニメーション GIF) ・PNG が使用できること。
		40	容易に、バナーの画像・URL・掲載期間・掲載場所を指定して登録できること。なお、掲載期間の登録により、自動的に掲載の開始・終了ができること。
	リンク	41	内部及び外部リンクが容易に設定できること。
		42	外部リンクは、別ウインドウで開くように容易に指定できること。
	コンテンツの再利用	43	CMS に保存されているコンテンツを、容易に複製し、再利用できること。
	コンテンツの公開・公開終了	44	管理者が、すべてのコンテンツについて、承認フローによらず、容易に即時公開・停止・削除できること。
		45	指定日時に自動的に公開・非公開にできること。
		46	コンテンツを未来日付で公開する場合、公開開始日時を設定することで予定の日時に自動投稿できること。
		47	各ページに、公開日もしくは最終更新日を自動的に表示すること。
	カテゴリ	48	容易にカテゴリを追加・変更・削除できること。なお、変更した内容は、サイトマップ、カテゴリ・インデックス、ローカルナビゲーション、パンくずリストに自動的に反映すること。
		49	パンくずリストを自動作成でき、ページタイトルを自動的に引用できること
50		コンテンツ作成時に、登録されたカテゴリの中から選択することで、カテゴリを容易に登録できること。なお、1つのコンテンツについて、複数のカテゴリが容易に設定できること。	
51		作成済みのコンテンツを、別のカテゴリに容易に移動できること。	
ナビゲーション	52	必要に応じて、統一された所定の位置に「ページトップに戻る」「前のページに戻る」「トップページに戻る」等のリンクボタンを表示すること。	
付加機能	FAQ 機能	53	テンプレートを用いて、カテゴリ別表示が可能なFAQページを容易に作成できること。なお、随時、FAQ項目の追加・更新・削除が容易にできること。
		54	FAQ には、関連リンクや問合せ先を容易に設定できること。
		55	閲覧者が、カテゴリから FAQ を容易に探すことができること。
	動画配信機能	56	様々なサイズやファイル形式で、動画の登録・配信が容易に行えること。なお、YouTube 等の動画配信の外部サイトを利用することも可とする。
		57	RSS 等を自動生成するコンテンツを容易に設定 (追加・削除を含む) できること。
		58	CMS 編集画面上に、オンライン操作マニュアルを表示させること。

		59	CMS サーバは一般の利用者からアクセスできないよう、グローバル IP アドレスでの制御等を行なうこと。
		60	データセンターへアクセスする場合は、一般インターネット回線を利用することとし、ID・パスワード認証でログインを行なうこと。
		61	CMS パッケージソフトは、すでに他自治体での導入実績があること。
		62	閲覧者のPCにおけるOSやブラウザ等利用環境に依存することなく、概ねすべての環境から同等の階層構造やレイアウトが崩れることなく快適に閲覧できるような仕組みとすること。
		63	CMS に登録されたデータベース及びコンテンツは毎日自動バックアップすること。
		64	セキュリティ対策、改ざん防止を考慮すること。
		65	障害発生時には、バックアップデータ等から速やかに復旧措置が行えるよう方策を講じること。また、障害発生時の問い合わせ窓口及び対応は、24時間365日体制とすること。
		66	システムに脆弱性が発覚した場合やセキュリティパッチの導入、不可避なアップグレード等が必要となった場合は速やかに修正作業を保守業務範囲内で実施すること。
		67	サイバー攻撃等が発生した場合や予見される場合は、ログの収集・解析を実施すること。
		68	一時的に非公開化する機能を有すること。
ウェブ マー ケ テ ィ ン グ	SEO対策	69	HTML5+CSS3 で記述されていること。
		70	URL の正規化 (www や index の有無) がされていること。
		71	Canonical が正しく設定され、URL の正規化がされていること。
		72	title の文字数は検索エンジンが推奨する設定であること。
		73	対策キーワードが、title・h1~h6 まで正しく設定されていること。
		74	CSS や Javascript は外部ファイル化され、HTML 構造がシンプルで検索エンジン対策がなされていること。
		75	ファイルサイズの軽減や・サーバーチューニングを施すこと。
		76	対策キーワードがページ上部で正しく記述され、オーガニックサーチ・指名検索で上位表示されること。
		77	meta・strong・alt など、検索順位に影響する設定は正しく記述すること。
	78	HTTP ステータスコード 404 ページを正しく設置していること。	
	79	内部リンクやフッターリンクの過剰設置など、検索順位にマイナスとなる要因は設計回避すること。	
	設定	80	Google Analytics (以下GA) を導入し、全ページのログを解析できるように基本設定・フィルタ設定・コンバージョン設定を行うこと。
		81	ページの公開、削除、編集といった履歴をログとして残すことができ、記録したログは一覧で確認できること。
		82	Google Search Console (以下 GSC) を導入し、検索トラフィックを監視設定すること。
		83	GSC サイトマップ登録では、自動生成される xml ファイルを登録し、正しくインデックスされていること。
	構造	84	GSC 「HTML 改善」において、エラーが発生した場合、速やかに対処・解決すること。
		85	GSC 「モバイルユーザビリティ」において、エラーが発生した場合、速やかに対処・解決すること。
		86	W3C 統合検証サービスを用いてHTML・CSSの構文チェックを受け、エラーが発生した場合は適切な処置を行うこと。
		87	CMS 専用 URL の noindex 設定を正しく行っていること。
UX/UI	88	O2O促進を意図するページにはSNSボタンを設置し情報拡散を図ること。また、ボタン設置後においても読み込み速度はユーザーがストレスを感じない1秒以内で閲覧できる状態であること。	
	89	コンテンツサイズ・配色ルール・Webフォントなど、ユーザビリティに配慮したUI設計書に従いレイアウト設計・デザイン・HTML構造を行うこと。	